



## 『気象に関する懸賞論文』募集のご案内

財団法人 日本気象協会

**趣旨：**当協会では、気象（気象・地象・水象・環境等）知識及び防災思想の普及を目的に、気象分野における優秀な論文を懸賞しています。つきましては、気象への関心を高め、更なる知識の普及啓発が期待される論文を奮ってご応募頂きたくご案内致します。

### 平成18年度テーマ

#### 次世代に伝えたい気象の『恵み』

昨今、「気象」は災害によるデメリットの印象を強く受けたり、ライフスタイルの変化で生活が天気左右されることが少なくなり、気象による恩恵が見えにくくなっています。本来、「気象」は生活していく上で欠かせない自然の要素であり、その知見を深めることで、より生活が豊かになることが期待できます。ついては、現代社会における気象による「恵み」を紹介し、そして、その「恵み」をどのような取り組みで次世代にまで伝えていくかをテーマとした論文を募集します。

※実践に基づいた事例紹介も歓迎します。

**応募資格：**特に制限なし

**応募締切：**平成18年9月11日

**賞及び賞品：**

- |           |        |       |
|-----------|--------|-------|
| 最優秀賞：1編以内 | 賞状及び賞金 | 100万円 |
| 優秀賞：2編以内  | 賞状及び賞金 | 20万円  |
| 入選：6編以内   | 賞状及び賞品 |       |

**応募規定：**

- ◇ 応募論文は日本語を使用し、A4タテ判横書き、表紙、論文要旨、本文（図表、引用文献含む）で構成する。
- ◇ 表紙には、1. タイトル 2. 氏名 3. 年齢 4. 住所 5. 電話番号/FAX番号 6. E-mailアドレス 7. 職業・所属 8. どのように本懸賞論文を知ったかを明記する。
- ◇ 論文要旨は、1,200字程度とする。（A4判1枚）
- ◇ 本文は、12,000字程度とする。（A4判1行40字×38行 8枚程度）
- ◇ 応募論文は、本人のもので未発表のものに限る。協同執筆の場合は、代表者について表紙の各項

目を記入する他、執筆者全員の氏名、所属、連絡先を付記する。

- ◇ 引用文献については引用元の文献、著者を明記すること。
- ◇ 応募論文は返却しない。

**諸権利：**受賞論文と入選論文の著作権及び派生する全ての権利は主催者に帰属する。

**応募方法：**

- (1) 郵送による応募  
論文原稿はWindowsのワード、エクセルを使用し、論文ファイルを納めたFD、MO、CD-Rなど各種媒体を応募先まで郵送する。（締切日当日消印有効）
- (2) インターネットによる応募  
論文原稿はWindowsのワード、エクセルを使用し、論文ファイルをE-mailに添付して応募先まで送信する。ファイル容量は3メガバイト以下とし、それを超える場合は郵送による応募とする。（E-mail送付は締切日迄有効）

**応募先及び問い合わせ先：**

〒170-6055 豊島区東池袋3-1-1サンシャイン60 55F  
財団法人日本気象協会「気象に関する懸賞論文」係  
E-mail：ronbun@jwa.or.jp

**選考：**

- 【選考委員長】 浅井富雄：東京大学名誉教授  
【選考委員】 石井和子：気象予報士会会長  
瀬川茂子：朝日新聞社科学医療部記者  
深尾光洋：慶応義塾大学商学部教授  
福岡義隆：立正大学環境科学研究所長  
（敬称略、50音順）

**結果発表：**選考結果は、平成19年2月頃に、当協会ホームページにて掲載します。また、入賞者には直接通知します。

**表彰式：**平成19年2月頃に、財団法人日本気象協会本社（東京都豊島区東池袋サンシャイン60）において最優秀賞、優秀賞受賞者の表彰式を行いません。